

登別市市民自治推進委員会  
第4回全市観光に関する企画委員会 議事概要

開催日時：平成23年3月16日(水)18:30~20:20

開催場所：市民活動センターのぼりん 2F会議室A

出席者：川田、岡田、石亀、河村、南部、片岡、中原、瀧川(事業見直しに関する企画委員会)

1. 議題

(1) 報告事項(川田チームリーダーより報告)

役員会報告の主な内容

- ・ 2月25日開催された役員会の別紙議事録にそって、川田チームリーダーから説明。  
川田チームリーダーは当日所用があつて欠席したため、企画委員会の報告はできなかった。瀧川委員から事業見直しに関する委員会からの報告として、市の事業をいろいろと調査している。
- ・ 3月13日(日)開催の「市民フォーラム」は、東北関東沖の地震災害のため、中止となった。
- ・ 3月30日(水)開催の観光カリスマ「山田桂一郎氏講演会」も中止になると、市観光室から情報を得ている。

その他報告の主な内容

- ・ 特になし

(2) 協議事項

検討テーマ「ご当地検定」について

- ・ 川田チームリーダーからイメージとして、趣旨書、検定の企画書、進行、収支、テキストの作成に参加要請したいメンバーの各案について、説明した。  
また、仮に事業化できても、スケジュール的に来年度に持ち越すものと思われること、役員会に諮る上でも、まだまだ詰めていかなければならないと。
- ・ 委員より、テキスト代も含め、受講料及び受検料の子供の無料は、即多数の参加には繋がらないこと、教育の場で勤めることも必要。子供も年齢で(中学生以上)有料にすべきでは、との意見が出た。
- ・ あくまでも、案であり、これから役員会でも詰めてもらうこと、また、テキスト作成委員会には教育委員会も参加して欲しいメンバーに入れているので、方法論として、考えられるのでは。
- ・ 23年度はボランティアガイドの養成講座を、開催しない方向。型にはまった養成講座ではなく、このご当地検定のように、ホスピタリティを持って一般の方や子供がもっと、接する形でも良いと思う。
- ・ 総体的に賛成であるが、実行させる組織をどこに持たすのか、明確になっていないし、まだまだ企画を練るべき。果たして、多数の方が検定を受けてくれるのか、何か、検定を受けることによって合格者の特典も検討すべき。寄付金を募って自治推進委員会だけで試験的に進めて行くことも考えられるのでは。
- ・ まだ、役員会にも諮っておらず、ゴーサインも出ていない中で、組織をどこに持たすと明言できないはず。どこまで企画委員会で進めるべきか分からない。頭の中では、商工会議所が適当かと。合格者への特典として、例えば日帰り入浴料金の半額や飲食店の割引など、地元還元される方法もあるはず。
- ・ 先ずは、役員会での了承を得ることが肝心。役員会にはアドバイスを頂きながら企画委員会と一丸にならなければならない。外部との折衝は役員会(自治推進委員会会長名)でしっかり対応してくれなければ、事は進まない。企画委員会委員の肩書きだけでは外部との折衝は無理。
- ・ 次回も引き続き、何のためにやるのか、やるためにはどういう方法が良いのか、「ご当地検定」に絞って企画書の細部を詰めることに。

その他(以下はその他事項での意見であり決定事項では御座いません。)

- ・ 鷺別川の清流化とサクラマスの放流の提出資料について、説明があった。河川法が改正され、23年度から規制が緩和され、散策路、公園などの施設も可能になる。
- ・ ネットで広報している登別の「観る、食べる、歩く、遊ぶなど」について、資料の提出があった。お客に情報として提供できるものについて、再調査と各所を入れたマップ化も必要では。

(3) 次回会議

- ・ 日程：平成23年4月12日(火)18時30分~
- ・ 場所：市民活動センターのぼりん 2F市民活動室D
- ・ 内容：企画書「ご当地検定」の細部検討